

Adobe Target

モバイルサイトとアプリの最適化



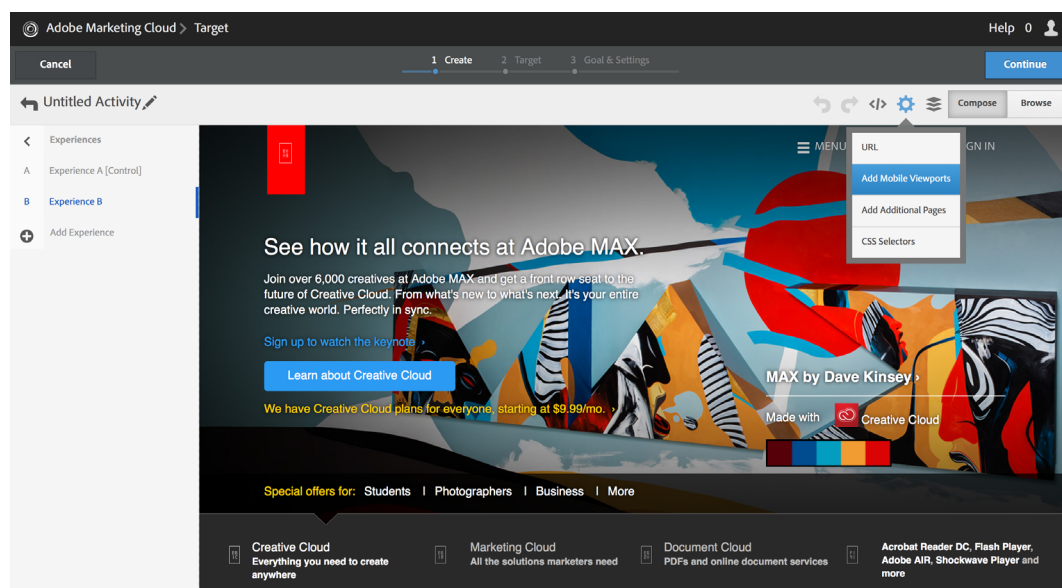
今日、多くの企業でモバイルトラフィックが増加しています。今こそ、業界トップクラスの最適化ソリューションであるAdobe Targetを活用して、モバイルサイトやレスポンシブサイト、アプリを最適化しましょう。

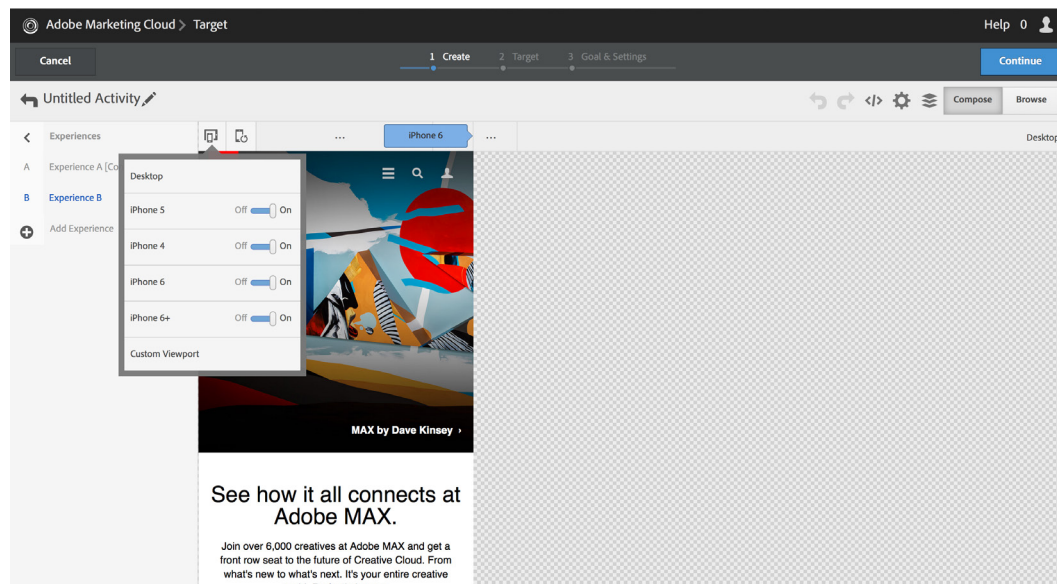
今日の消費者は、時間や場所を問わず、必要なときにモバイルデバイスを使用して商品やサービスの情報を確認できる環境を求めています。多くの企業でモバイル利用者の割合が増加している中で、訴求力のある顧客体験をロイヤルティの高い顧客に提供するため、モバイルサイトやレスポンシブデザインのサイト、モバイルアプリに投資する marketer は増加しています。利用者のニーズに応え、モバイルへの投資対効果を高めるためには、こうしたサイトやアプリの顧客体験を最適化することが必要です。Adobe Targetは、モバイルサイトやレスポンシブサイトの最適化を支援するツールです。Adobe Mobile Services SDKを使用して、モバイルアプリのパフォーマンスを測定、最適化し、向上させることができます。モバイル体験のテストとターゲティングをすばやく容易に実施し、エンゲージメントやコンバージョンを向上できます。

モバイルサイトやレスポンシブデザインのサイトのためのAdobe Target

モバイル向けに最適化されたユーザーインターフェイスを利用して、モバイルサイトやレスポンシブデザインによるサイトの顧客体験を構築できます。

webサイト体験の構築に用いられるVisual Experience Composerを使用して、「m.」が付くモバイルサイト向けの顧客体験の構築、テスト、ターゲティングも可能です。レスポンシブデザインによるサイトの場合は、モバイルビューポートを使用して、iPhone、Samsung Galaxy、Nexusなどの一般的なモバイルデバイスや、特殊なスクリーンサイズに合わせてサイトが適切に表示されるかどうかを確認し、最適化できます。ひとつのアクティビティの中で、デバイスごとに最適なエクスペリエンスが表示されるように設定できます。また、webサイトの場合と同様に、Adobe TargetとAdobe Analyticsの緊密な統合を生かし、Adobe Analyticsで定義したオーディエンスと指標を、アクティビティやレポートの中で使用できます。





充実したツールセットを使用して顧客体験のバリエーションを構築

Visual Experience Composerを使用すれば、webやモバイルサイトの個々の要素を参照しながら、選択、編集し、A/BテストやMVTテストの対象にすることができます。これには、スライドショーのカルーセルやポップアップウィンドウなど、URLを持たない要素を含めることも可能です。リッチテキストエディターを使用して、フォントのスタイルや色、サイズを変更したり、背景色や画像を変えたり、要素のサイズや並び方、位置などを調節できます。Adobe TargetまたはAdobe Experience Cloudのデジタルアセット管理ツールを使用すれば、あらゆる場所のコンテンツを選択したり、アップロードできます。レイヤー型のコンテンツ作成機能を使用し、具体的なデザインのガイドラインに従ってコンテンツを挿入したり、バリエーションをいちから作成することも可能です。

技術的なスキルのあるユーザーは、Visual Experience Composerを利用して、並んで表示されるコードエディターのコードパネルでカスタムコードを修正または追加しながら、コンテンツがどのように変化するかを上部のパネルで視覚的に確認できます。

詳細なガイダンスに従ってアクティビティを作成

Adobe Targetのガイド付きのビジュアルワークフローを利用すれば、業界のベストプラクティスにもとづき、テストの重要な側面にフォーカスしながら効果的なテストアクティビティを作成できます。テストを実施する場所を選択してエクスペリエンスを構築し、対象とするオーディエンスを設定してから、成果を測る指標を選択します。

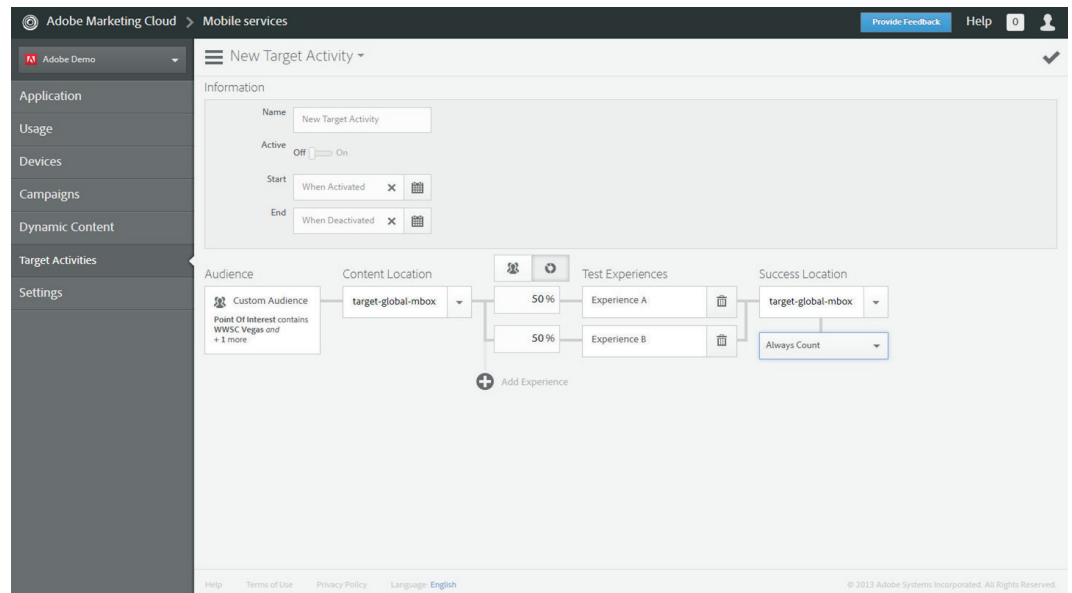
Adobe Analyticsとの統合を利用

Adobe TargetはAdobe Analyticsと緊密に統合されているので、テストを設定する際にAdobe Analyticsのオーディエンスや成功指標を選択して使用できます。この統合により、Adobe Analyticsで定義したオーディエンスや成功指標を基準にしてテスト結果をフィルタリングし、より詳細な分析をおこなって有用なインサイトを抽出することが可能になります。アクティビティの実行後に、Adobe Analyticsで定義したオーディエンスや成功指標を過去に遡ってレポートに適用することもできます。

モバイルアプリ対応のAdobe Target

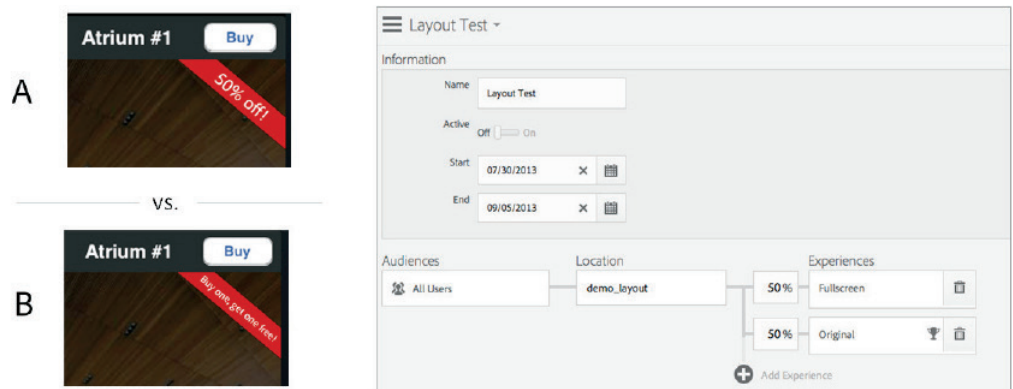
モバイルアプリ向けに最適化されたガイド付きワークフローを活用

ネイティブモバイルアプリの場合は、Adobe Mobile Services SDKを使用し、モバイルアプリ向けに最適化されたガイド付きのワークフローを利用できます。このワークフローでは、Adobe Targetでテストやターゲティングを実施するアプリ内の場所を指定したり、アプリ体験のバリエーションを作成したり、勝者エクスペリエンスのターゲティングをおこなったりできます。このSDKを使用すれば、モバイルアプリを運営するチームが利用者の行動を容易に分析し、ワンクリックで顧客体験を最適化できます。ユーザーインターフェイスに表示されるアプリの種類や名称、アイコン、説明、主要指標を指定し、複数のアプリを容易に管理できます。



関連性の高いデータとテストを生かしてアプリを最適化

アプリの起動や最終利用日からの経過日数、携帯キャリアなどといったライフサイクル指標とアプリ分析データを使用して、オーディエンスを定義し、エクスペリエンスのテストとターゲティングができます。A/Bテストや多変量分析テストを作成してアプリ体験の効果を測定し、エンゲージメントと収益化の促進に生かすことも可能です。公開前に、アプリのシミュレーターを利用して様々なパターンをプレビューできます。

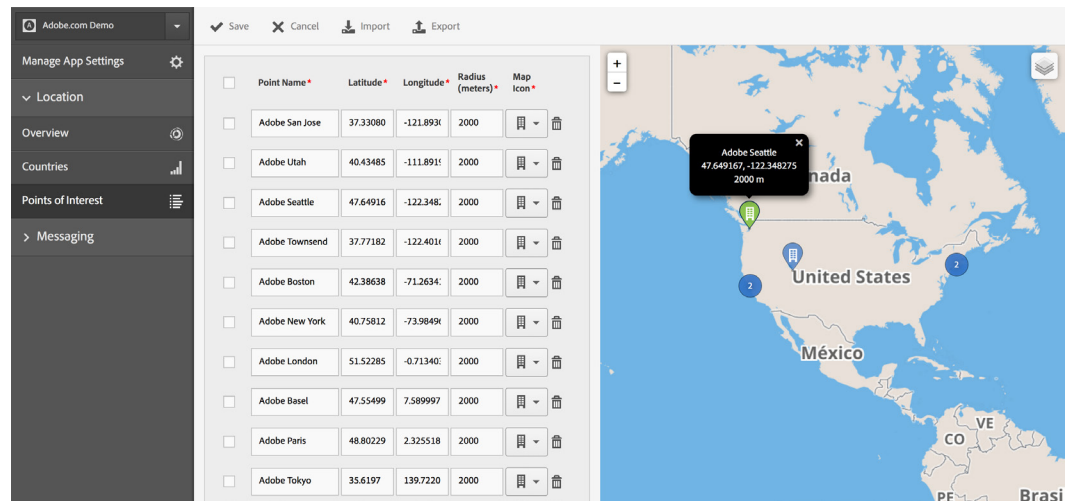


アプリ内メッセージを最適化

アプリ内メッセージを利用すれば、効果的なタイミングや場所で利用者に情報を届けることができます。こうしたメッセージを最適化することにより、成果を最大限に高めることができます。例えば、アプリの利用後にレビューを投稿するよう促すアプリ内メッセージを最適化することで、アプリのダウンロード数の増加につなげることも可能です。

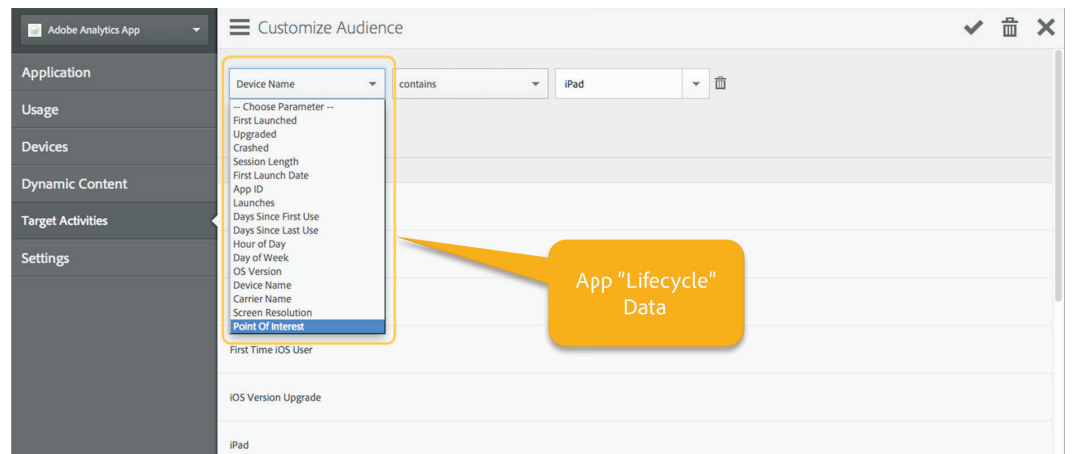
位置情報の分析とターゲティング、プッシュ通知を活用

アプリを起動した利用者のGPSによる位置情報と、小売店舗や銀行、空港、競合他社の場所、スタジアムなど、利用者の興味関心がある近隣の施設や場所を把握します。そうした場所やiBeaconの近くにいる利用者を対象として、状況に即したプッシュ通知を活用しながらアプリをパーソナライズできます。



アプリ用の分析機能でパフォーマンスを測定

Adobe Analyticsを利用してアプリのパフォーマンスを測定、監視できます。モバイルアプリ利用者のエンゲージメントを把握できる詳細な分析データと、アプリストアのパフォーマンス指標などを確認できます。アプリのレポートや主要な業績評価指標などから、利用者のエンゲージメント、アプリストアのパフォーマンス、インサイト、パス分析、コホート分析、維持率分析、GPS位置情報分析、生涯価値分析などのデータを把握できます。



アプリマーケティング用SDKにより、複数のモバイル種別をまたいで容易に導入

Adobe Experience Cloudのソリューション間でアプリのデータの収集と共有を可能にするほか、組み込み型の導入確認機能によって検証できます。ひとつの包括的なSDKをアプリに統合することにより、わずか5分ほどで導入し、アプリ向けに最適化されたガイド付きのワークフローや、マーケター向けに設計された直観的な可視化機能とレポートなどが利用できます。iOS、Android、Windows、Mac OSなどの主要なオペレーティングシステムに対応しています。

Adobe Targetのコンサルティングサービスを利用してモバイルマーケティングを成功に導く

最適化業務の経験を問わず、あらゆるマーケターがアクティビティを設定、開始できます。ユーザーがモバイルマーケティングの成果をすばやく得られるように、アドビの最適化コンサルタントが様々なコンサルティングサービスを提供しています。こうしたコンサルタントには、効果的な最適化プログラムを策定するためのサポートを、業界トップの企業に長年にわたって提供してきた経験があります。モバイルサイトやレスポンスサイト、モバイルアプリ用の戦略策定から導入、成果分析までを支援する様々なコンサルティングサービスをご利用いただけます。

Adobe TargetとAdobe Experience Cloudの詳細

Adobe Targetのその他のデジタル最適化機能について、詳しくは、以下をご覧ください。

<https://www.adobe.com/jp/marketing-cloud/target.html>

詳細情報

www.adobe.com/jp/marketing-cloud/target.html



Adobe Systems Incorporated
345 Park Avenue
San Jose, CA 95110-2704
USA
www.adobe.com/jp

Adobe and the Adobe logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.

© 2018 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Printed in Japan.